

# 予防歯科学

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	那須 郁夫 (公衆予防歯科学)

学習目標 (G I O)	<p>本来、本講義は歯科疾患の予防について学ぶ科目である。しかし今日では、単なる歯科疾患を意識した予防という考え方でなく、体の一部分である歯や口腔が健康であることを通じて、その人自身が健康であること、また、健康かどうかだけでなく、日常生活（活動）が自立しているか、さらに、社会参画が実現しているかといったところまで、守備範囲を広げて学ぶ必要性が出てきている。</p> <p>すなわち、予防歯科学実習を通じて「歯科・口腔」を専門分野としつつ、「体全体」についても深い造詣を持てるように、また、「地域の人々」が生き生きとした生活を送っているかどうかにも配慮のできるような態度を身につけるための、基礎的素養を身につけることを目標にする。</p> <p>実習は、「歯科・口腔」の専門家としての基本的技術を体得する実習と、グループによる健康に関する「問題解決」実習を用意してある。前者は、主に、口腔内診査と歯科疾患の予防方法に関するものであり、後者は、チームワークによる問題解決のプロセスの体験のための実習である。これらを踏まえて予防歯科学に関する知識・技能および態度を習得する。</p>
担当教員	那須 郁夫、有川 量崇、後藤田 宏也、田口 千恵子、※新保 秀樹、※佐藤 誠司、※生田 明敏、※秋月 照彦、内山 敏一、※渡邊 裕、※深井 稜博
教科書	口腔衛生学2014 松久保 隆、八重垣 健、前野正夫 那須郁夫、小松崎 明、杉原直樹 監修 一世出版
参考図書	国民衛生の動向 厚生統計協会 厚生統計協会
評価方法 (E V)	<p>講義：授業時間内に行う2回の平常試験（90%）とレポート（10%）によって評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を行い、再試験を実施する。</p> <p>実習：レポート・提出物の評価（30%）、実習態度（20%）、課題の発表と討論（20%）、筆記試験（30%）とする。</p> <p>最終評価は、講義（60%）、実習（40%）の割合とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>歯科の専門家として、口腔衛生・予防歯科学は、歯科の中心に据えてもらいたい。</p> <p>歯科に関する実習では、基本に忠実にと願いたい。また、問題解決実習（昭和51年からの伝統的実習）では、問題発見から、調査、分析、発表まで、それぞれのグループの個性あふれる研究成果を毎年楽しみにしている。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/09/28 (月) 2時限 10:40~12:10	口腔機能の発育、維持向上、疾病の多要因病因説	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の発育、維持向上および疾病の多要因病因説について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔機能の維持増進の意義について説明できる。 2. 口腔機能と発育について説明できる。 3. 摂食・嚥下機能について説明できる。 4. 疾病の多要因病因について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯、口腔の発育発達と機能について概説できる。 疾病の多要因病因について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因 3 不正咬合の予防・管理 ア 不正咬合発生・進行の要因 歯科医学総論 総論 IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 ソ 唾液分泌</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 C 生命科学</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/09/28 (月) 2時限 10:40～12:10	口腔機能の発育、維持向上、疾病の多要因病因説	C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。	那須 郁夫
2015/09/28 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 オリエンテーション ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。  【準備学習項目】 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について概説できる。  【学習場所・媒体等】 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成 ----- ・課題選択の検討  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。	那須 郁夫 後藤田 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/09/28 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 オリエンテーション ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。  【準備学習項目】 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について概説できる。  【学習場所・媒体等】 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成 ----- ・課題選択の検討  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。	那須 郁夫 後藤田 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/10/05 (月) 2時限 10:40～12:10	歯と口腔内環境・口腔清掃	【授業の一般目標】 歯と口腔内環境・口腔清掃について理解する。     【行動目標 (SBOs)】 1. 歯、歯質および歯周組織について説明できる。	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/10/05 (月) 2時限 10:40～12:10	歯と口腔内環境・ 口腔清掃	<p>2. バイオフィーム、病原微生物およびう蝕と食事要因を説明できる。 3. 口腔清掃（歯ブラシによる清掃、歯磨剤、洗口剤）を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯と口腔内環境および口腔清掃について概説できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 イ 口腔清掃法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ケ 口腔清掃 a 機械的・化学的プラーク&lt;口腔バイオフィーム&gt;コントロール b プラーク形成機序・付着抑制 c 口腔清掃行動</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因 6 保健指導 ア 口腔清掃の意義 ウ 口腔清掃指導</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *②プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2015/10/05 (月) 3時限 13:00～14:30	<p>実習</p> <p>[必須課題] ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 Ⅰ：う蝕</p> <p>-----</p> <p>[選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 学校歯科健康診査について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p> <p>B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。</p>	<p>那須 郁夫 後藤田 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/10/05 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕  ----- [選択課題]		那須 郁夫 後藤 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/10/05 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕  ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 学校歯科健康診査について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行う。実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。</p>	那須 郁夫 後藤 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/10/19 (月) 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 1 : 砂糖の影響と その制限	<p>【授業の一般目標】 齲蝕予防管理方法 (砂糖の影響とその制限) について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 非う蝕誘発性甘味料について説明できる。 2. 間食指導について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕予防のための砂糖の制限について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ク 保健指導 a 栄養と食生活 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 7 食育と食の支援 ア 食生活と健康課題 ウ 間食指導 エ ライフステージと食の支援</p>	有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/10/19 (月) 2時限 10:40～12:10	齶齲予防管理方法 1: 砂糖の影響と その制限	【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。	有川 量崇
2015/10/19 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・齶齲検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I: う蝕 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる。 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。  【準備学習項目】 学校歯科健康診査基準について概説できる。  【学習場所・媒体等】 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。  ・自主活動  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第1 実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。	那須 郁夫 後藤 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/10/19 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・齶齲検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I: う蝕 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる。 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。  【準備学習項目】 学校歯科健康診査基準について概説できる。  【学習場所・媒体等】 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。  ・自主活動  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第1 実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/10/19 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・齶蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- [選択課題]	①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/10/26 (月) 2時限 10:40～12:10	齶蝕予防管理方法 2 : フッ化物応用の基礎	【授業の一般目標】 齶蝕予防管理方法(フッ化物応用の基礎)について理解する。  【行動目標(SBOs)】 1. フッ化物の基本的知識について説明できる。 2. フッ化物の代謝について説明できる。 3. フッ化物と歯のフッ素症について説明できる。  【準備学習項目】 フッ化物応用の基礎について概説できる。  【学習方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齶蝕の予防・管理 キ フッ化物の応用法  【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 a 全身的应用 b 局所的应用 c 安全性  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】	那須 郁夫
2015/10/26 (月) 3時限 13:00～14:30	必須課題] ・集団歯科検診法 II : 歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 歯周疾患(CPI)の評価および歯口清掃評価について説明できる。  【準備学習項目】 歯周疾患(CPI)の評価および歯口清掃評価について概説できる。  【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患(CPI)、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。  【学習方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保	那須 郁夫 後藤田 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/10/26 (月) 3時限 13:00～14:30	必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	健)を説明できる。 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。	那須 郁夫 後藤 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/10/26 (月) 4時限 14:40～16:10	必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について説明できる。  【準備学習項目】 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について概説できる。  【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患 (CPI)、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/11/02 (月) 2時限 10:40～12:10	齶蝕予防管理方法 3：フッ化物応用・ フィッシャーシーラント	【授業の一般目標】 フッ化物応用とフィッシャーシーラントについて理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. フッ化物によるう蝕予防のメカニズムについて説明できる。 2. フッ化物の全身応用法について説明できる。 3. フッ化物の局所応用法について説明できる。 4. フィッシャーシーラントについて説明できる。  【準備学習項目】 フッ化物応用とフィッシャーシーラントについて概説できる。  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齶蝕の予防・管理 オ 齶蝕の予防手段  【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 a 全身的応用 b 局所的応用 c 安全性  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/11/02 (月) 2時限 10:40～12:10	齶蝕予防管理方法 3:フッ化物応用・ フィッシャーシー ラント	習慣病の改善指導を含む。】 F 臨床実習 F-9 小児歯科実習 F-9-2) 予防填塞 ③予防填塞材を適切に填塞できる。	那須 郁夫
2015/11/02 (月) 3時限 13:00～14:30	[必須課題] ・集団歯科検診法 II: 歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について説明できる。  【準備学習項目】 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について概説できる。  【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患 (CPI)、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。 ----- ・自主活動  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/11/02 (月) 4時限 14:40～16:10	[必須課題] ・集団歯科検診法 II: 歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について説明できる。  【準備学習項目】 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について概説できる。  【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患 (CPI)、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。 ----- ・自主活動  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/11/02 (月) 4時限 14:40～16:10	[必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/11/09 (月) 2時限 10:40～12:10	歯周疾患と全身状態	【授業の一般目標】 歯周疾患と全身状態について理解する。  【行動目標(SBOs)】 1. 歯周疾患の定義、特徴および分類について説明できる。 2. 歯周疾患の病因について説明できる。□ 3. 歯周疾患の予防管理の具体的な進め方について説明できる。  【準備学習項目】 歯周疾患の定義について概説できる。□□□ 歯周疾患の予防管理について概説できる。□□□ 歯石除去法と咬合管理について概説できる。□□□  【学習方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 オ 歯周病の予防手段  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因 イ 歯周病のリスクファクター・診断 ウ ライフステージと歯周病 エ 歯周病と生活習慣病のリスク カ 歯周病の予防効果の評価  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。	有川 量崇
2015/11/09 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。  【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について説明できる。  【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定 ----- ・自主活動  【学習方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/11/09 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/11/09 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。  【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について説明できる。  【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定  ・自主活動  【学習方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/11/09 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	*⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/11/16 (月) 2時限 10:40～12:10	疾病のリスク評価 の実際・口臭予防	【授業の一般目標】 う蝕リスク診断法とその特徴および口臭の原因と予防について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 菌、宿主要因に関するリスク診断について説明できる。□ 2. 微生物要因に関するリスク診断について説明できる。 3. 飲食物の要因と時間要因に関するリスク診断について説明できる。 4. 口臭症と歯科臨床について説明できる。 5. 口臭の臨床ガイドラインについて説明できる。  【準備学習項目】 う蝕のリスク診断法について概説できる。 口臭予防について概説できる。  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 4 口臭の予防・管理 ア 口臭の原因 イ 口臭の診断 ウ 口臭の予防・治療  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。	内山 敏一
2015/11/16 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。  【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。  【学習場所・媒体等】 実習] 第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定 ----- ・自主活動  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/11/16 (月) 3時限 13:00~14:30	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	ソ 唾液分泌 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防充填とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/11/16 (月) 4時限 14:40~16:10	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。  【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。  【学習場所・媒体等】 実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定 ----- ・自主活動  【学習方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 ソ 唾液分泌 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防充填とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/11/30 (月) 2時限 10:40～12:10	歯科保健の統計指標 平常試験 1	<p>【授業の一般目標】 歯科保健の統計指標について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 疾病数量化の基本概念について説明できる。 2. う蝕の統計指標について説明できる。 3. 歯周疾患の統計指標について説明できる。 4. 口腔清掃状態の統計指標について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科保健の統計指標について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ケ 歯科領域における疫学調査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	那須 郁夫
2015/11/30 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定</p> <p>-----</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラー</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/11/30 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	クコントロールを含む。】 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3）高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/11/30 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。  【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。  【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定  ----- ・自主活動  【学習方略（LS）】 実習  【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3）高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/12/07 (月) 2時限 10:40～12:10	歯科疾患統計の実際	【授業の一般目標】 歯科疾患統計の実態について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 歯の喪失の実態について説明できる。 2. 歯の喪失の原因について説明できる。 3. う蝕の疫学的特性について説明できる。 4. う蝕の有病状況について説明できる。 5. 根面う蝕の状況について説明できる。 6. 歯周疾患の疫学的特性について説明できる。  【準備学習項目】 歯科疾患統計の実態について概説できる。  【学習方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/12/07 (月) 2時限 10:40~12:10	歯科疾患統計の実 際	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ケ 歯科領域における疫学調査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 コ 齲蝕の疫学要因 サ 歯周病の疫学要因</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	那須 郁夫
2015/12/07 (月) 3時限 13:00~14:30	<p>実習 〔必須課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・う蝕活動性試験</li> <li>・う蝕予防法</li> <li>・口腔機能の評価</li> <li>・フッ化物定量法</li> </ul> <p>-----</p> <p>〔選択課題〕</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. う蝕リスク診断について説明できる。</li> <li>2. フィッシャーシーラントについて説明できる。</li> <li>3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。</li> <li>4. F イオン濃度測定について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】</p> <p>う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>【【実習】 第1実習室、第4実習室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、</li> <li>・フィッシャーシーラント</li> <li>・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価</li> <li>・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定</li> </ul> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主活動</li> </ul> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 ソ 唾液分泌 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/12/07 (月) 4時限 14:40~16:10	<p>実習 〔必須課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・う蝕活動性試験</li> <li>・う蝕予防法</li> <li>・口腔機能の評価</li> <li>・フッ化物定量法</li> </ul> <p>-----</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. う蝕リスク診断について説明できる。</li> <li>2. フィッシャーシーラントについて説明できる。</li> <li>3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。</li> </ol>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/12/07 (月) 4時限 14:40～16:10	[選択課題]	<p>4.F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 【【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定</p> <p>-----</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 ソ 唾液分泌 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/12/14 (月) 2時限 10:40～12:10	母子歯科保健	<p>【授業の一般目標】 母子を対象とした集団レベルの歯科疫学と口腔衛生管理を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 妊産婦の歯科保健について説明できる。 2. 乳幼児の歯科保健について説明できる。 3. 母子保健手帳について説明できる。 4. 母子歯科保健のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 母子歯科保健について概説できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 2 母子保健、母子歯科保健 オ 母子歯科保健の意義</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 母子保健 a 歯科健康診査（妊産婦、1歳6か月児、3歳児） 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 2 母子保健、母子歯科保健 カ 妊産婦の歯科保健 キ 乳幼児の歯科保健 ク 乳幼児歯科健康診査</p>	有川 量崇



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/12/14 (月) 2時限 10:40～12:10	母子歯科保健	ケ 母子歯科保健教育  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。	有川 量崇
2015/12/14 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題]	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。  【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/12/14 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [選択課題]	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。  【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/12/21 (月) 2時限 10:40～12:10	学校歯科保健	【授業の一般目標】 学校歯科保健について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科医について説明できる。 2. 学校歯科保健活動について説明できる。 3. 学校教育法および学校保健安全法について説明できる。 4. 学校歯科保健活動のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。  【準備学習項目】 学校歯科保健について概説できる。  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/12/21 (月) 2時限 10:40～12:10	学校歯科保健	<p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 エ 学校保健 a 保健教育・保健管理の概要 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 エ 学校歯科保健教育 カ 組織活動 キ 学校安全</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2015/12/21 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/12/21 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/01/18 (月) 2時限 10:40～12:10	産業歯科保健	<p>【授業の一般目標】 産業歯科保健について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 産業歯科保健の意義について説明できる。 2. 産業歯科保健に関する制度について説明できる。 3. 口腔領域に現れる職業性疾患について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 産業歯科保健について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/01/18 (月) 2時限 10:40～12:10	産業歯科保健	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 4 産業保健、産業歯科保健 カ 産業歯科保健活動</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 4 産業保健、産業歯科保健 オ 産業歯科保健の意義 キ 職業性歯科疾患 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 オ 産業保健 a 労働者の健康管理、トータルヘルスプロモーションプラン &lt;THP&gt;</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2016/01/18 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動試験評価 ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. う蝕活動試験評価とう蝕レーダーチャートについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕活動試験評価とう蝕レーダーチャートについて概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習] 第1実習室、第4実習室 ・各自のう蝕レーダーチャートを作成し、評価を行う。</p> <p>----- ・自主活動</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/01/18 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動試験評価 ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. う蝕活動試験評価とう蝕レーダーチャートについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕活動試験評価とう蝕レーダーチャートについて概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習] 第1実習室、第4実習室 ・各自のう蝕レーダーチャートを作成し、評価を行う。</p> <p>----- ・自主活動</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/01/18 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動試験評価 ----- ----- [選択課題]	【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理のおよび患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/01/25 (月) 2時限 10:40～12:10	成人・老人歯科保健	【授業の一般目標】 成人、高齢者を対象とした集団レベルの疫学と口腔衛生管理、また社会的支援のあり方を理解する。 1. 高齢者の特性 2. 加齢による身体的、精神的変化 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化 4. 高齢者に対する歯科疾患予防 5. 高齢者の歯科診療における注意点 6. 摂食嚥下障害への対処 7. 制度とニーズ把握  【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者の特性について説明できる。 2. 加齢による身体的、精神的変化について説明できる。 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化について説明できる。 4. 高齢者に対する歯科疾患予防について説明できる。 5. 高齢者の歯科診療における注意点について説明できる。 6. 摂食嚥下障害への対処について説明できる。 7. 制度とニーズ把握について説明できる。  【準備学習項目】 成人・老人歯科保健について概説できる。  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 5 成人保健、成人歯科保健 ウ 成人歯科保健  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 ア 現状、動向 イ 高齢者の特性 エ 要介護高齢者の歯科保健・医療  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。	渡邊 裕
2016/01/25 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題]	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。  【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。  【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室 自主活動  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/01/25 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題]	A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/01/25 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [選択課題]	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。  【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。  【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室 自主活動  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/01/29 (金) 2時限 10:40～12:10	障害者歯科保健・ 国際歯科保健	【授業の一般目標】 障害者歯科保健と国際歯科保健について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 障害の概念について説明できる。 2. 障害児・者の口腔保健の特性について説明できる。 3. 口腔保健管理とそれを支える特性について説明できる。 4. 国際歯科保健について説明できる。  【準備学習項目】 障害者歯科保健と国際歯科保健について概説できる。  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 8 障害者保健福祉 エ 障害者の歯科保健と医療・福祉  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 7 国際保健 ア 世界の保健・医療の問題と方向性 イ 国際保健・医療協力 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 8 障害者保健福祉 ウ 障害者の保健と医療・福祉  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-4) 障害者の歯科治療 ③障害者およびその介護者に対して歯科保健指導ができる。	深井 穂博
2016/01/29 (金) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 A-6-2) 研究マインドの涵養 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に参加することができる。</p>	田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/01/29 (金) 4時限 14:40~16:10	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 A-6-2) 研究マインドの涵養 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に参加することができる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/02/05 (金) 2時限 10:40~12:10	まとめ	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科疾患の予防について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防充填とブラークコントロールを含む。】</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/02/05 (金) 2時限 10:40～12:10	まとめ	<p>*③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	那須 郁夫
2016/02/05 (金) 3時限 13:00～14:30	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 A-6-2) 研究マインドの涵養 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/02/05 (金) 4時限 14:40～16:10	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 A-6-2) 研究マインドの涵養 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/02/08 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験 2	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科疾患の予防について概説できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/02/08 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験 2	<p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	那須 郁夫
2016/02/08 (月) 3時限 13:00～14:30	実習試験 まとめ	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科疾患の予防について概説できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2016/02/08 (月) 4時限 14:40～16:10	実習試験 まとめ	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科疾患の予防について概説できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/02/08 (月) 4時限 14:40~16:10	実習試験 まとめ	*⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。	那須 郁夫 有川 量 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹